



持続可能な森林管理の促進

生物多様性

「生物多様性」は、地球上の生命の多様性について言及する用語で、遺伝子的な多様性、生物種の多様性、生態系の多様性、およびそれらの間の相互作用やそれらと環境と間の相互作用などが含まれます。

地球上で、森林は生物多様性と価値ある陸上生態系を最も豊富に有しています。森林は、そこに存在するすべての樹種に加えて、豊富で複雑な植物、動物、昆虫および微生物の生息地となっています。これらの存在や相互作用によって、森林の内部では授粉、種の分散、土壌の涵養など重要な生態学的な諸々の作用が発生しています。

森林の生物多様性は、社会が森林から受ける多くの価値や有益なもの基となっています。これらの価値や有益性には、食物（イチゴ類、きのこなど）、繊維（ファイバー）、バイオマス、木（木材）、人や野生動植物の生息地や保護地、精神的・霊的な恩恵やレクリエーション上（狩猟）の恩恵などが含まれます。

しかし、森林の生物多様性を維持することは複雑かつ繊細で、それは増大する人間の需要や人が森林生物生態系に及ぼす影響によりますます困難になっています。

森林の劣化や伐採は、森林の生物多様性に深刻な影響を及ぼします。国連食糧農業機構(FAO)の推定によれば、毎年 1,300 万ヘクタールが伐採によって消失しており、そのことが種に重大な影響を及ぼしています。

同様に、劣化した森林の生物多様性は悪影響を受け、変動する気候条件への適用やそれからの回復することができにくい弾力性のないものになります。

私たちが森林の生物多様性を維持し、またこれを増大しようとするなら、森林と人間の間で発生する相互作用を、資源の保全と持続可能性の観点からの慎重な注意をもって管理しなければなりません。

PEFC 認証と生物多様性

PEFC が提唱する「グローバルな思考で、ローカルな行動を」の考え方は、世界の生物多様性の維持と増大に大きな恩恵と貢献を提供するものです。

規格を国別に策定することは、各国において、その地域の政治的、社会経済的、文化的および行政上の諸条件を考慮し、規格をその地域に特有の生物多様性、環境、生態学的条件に特化したものにするのを可能にします。それにより、その国や地域の諸問題や優先事項を反映し、これらに対応したものにすることができます。

PEFC の認証森林では、管理者は林業の施業がその森の生物多様性を維持、保全、さらに増大することを確実にすることが要求されます。これらの要求事項には、天然再生が優先されるべきこと、造林や森林再生にあたっては天然種が望まれることなどの規定が含まれます。森林管理者には、特別の主要なビオトープを保護し、伐採や森林の生産性のバランスを図り、劣化した森林生態系はこれを回復すること、などを確実に実行することが求められています。

遺伝子組み換え作物（GMO）については、その潜在的な恩恵や危険性およびそれが生物多様性に及ぼす影響に関する科学的な裏付けが不十分な段階に留まっており、社会的な議論が完了していないことを鑑み、PEFC 評議会総会は GMO が PEFC 認証原材料の一部をなすことは不可である旨を決定しています。

PEFC 基準は、殺虫剤、除草剤などの化学品を天然の代替品に代えるか、または使用を最小限に留めるべきであることを規定しています。

PEFC が定める持続可能な森林管理を実践することは、森林が地球上で最大の陸上生態系を保持し、森林に対する社会からの需要が長期的に満たされることを確実にすることです。